



発行所  
金沢市泉本町3-111  
金 沢 高 等 学 校  
新聞部・文化委員会

校訓と教育理念

質実剛健の  
気風を高揚し  
共に求める真理  
共に育む友愛  
共に尊ぶ礼節  
共に鍛える心身

# 清掃を通じて地域に奉仕

～後期生徒会執行部活動中～



奉仕の精神で地域のごみを拾い集める生徒たち

平成27年度後期生徒会執行部役員は10月7日に選出され、1年生8名を含む12名が日々活動を行っている。前期の7名からメンバーが増え、生徒会室には活気があふれている。11月7日には同執行部が主導して恒例の地域清掃を実施し、約220名の生徒が周辺環境の美化に力を尽くした。

約220人で  
町をきれい

地域清掃は、日頃お世話になっている地域の方々に感謝の意を示すため、毎年この時期に行われている。当日は運動部、文化部から計13団体の部員が集まり、5つの地区に分かれ、生徒会執行部メンバーや先生方と清掃作業に取り組んだ。

「限られた時間の中で充実した日々が過ぎるよう、色々なことにチャレンジしていきたい。また3年生は、多くの方が受験という人生をかけた勝負に立ち向かうとしています。金沢高校生として、1・2年生全員が『応援』の心を持って、とっぴかけたいです」と道中君は



メンバーが増えて活気あふれる執行部

## 後期生徒会執行部

- 会 長  
道中 将浩 (2年3組)
- 副 会 長  
岡本 夏音 (2年4組)  
宮崎 優貴 (2年8組)
- 書 記  
藤本 彩実 (2年5組)  
桶谷 莉杏 (1年6組)
- 会 計  
土平 和哉 (1年4組)  
谷内 三起 (1年6組)
- 執行委員  
大島 珠藻 (1年2組)  
竹内須弥子 (1年2組)  
小林 優 (1年4組)  
中村 亮太 (1年4組)  
土平 達哉 (1年8組)

2015年の漢字は「安」  
少し前の話になるが、2015年の世相を一字で表す「今年の漢字」は、「安」という字だった。国

安心して暮らせる世の中とは程遠い現状となっている。テロが与える命の「不安」最近頻りに目にする外国からのニュースと言えば、テロを象徴する事件である。

テロ事件(だった。実際にその出来事を明確に記憶しているわけではないが、多くの人が無差別に命を奪われたという点で、テロの恐ろしさ

か。その命の「不安」を「安心・安全」に変えることは不可能なのだろうか。

安全な社会を作るには昨年北陸新幹線の開業が性があるという。例として電車内で安心して居眠りができる国は、日本を除いて世界にあまりないと言われる。日本の治安の良さを理由として、経済的な側面のほか、警察の機能の高さなどが指摘されているが、あるフランス人ジャーナリストによると、一ひとりがコミュニティの一員という意識の強さのためだという主張があった。

「今年の漢字」を書いた清水寺の森清範主は「安」という漢字が選ばれた背景には、安全な社会をつくっていくという思いがある」と語っていた。時間ばかりかかるといえないが、世界のどの国も所に行っても、安心して人々が生活できるような「思い」を持ち続けたい。

## 主張 いつか、安心して暮らせる世界に —互いの信頼感が安全を作る—

は、家の中で女性があつた。戦争、難民の多い。そこ

外国が身近な存在となった今、旅行や留学、仕事などで今後私たちが海外に出る機会が多くなるだろう。そのような場合、私たちは常に不安を抱えていなければならないの

あり、外国人を含む観光客が金沢に多く押し寄せた。しかし、今までのところ、犯罪が増えたなどの話は聞かれない。外国人観光客が日本を訪れる理由の一つに、高い安全

性があるという。例として電車内で安心して居眠りができる国は、日本を除いて世界にあまりないと言われる。日本の治安の良さを理由として、経済的な側面のほか、警察の機能の高さなどが指摘されているが、あるフランス人ジャーナリストによると、一ひとりがコミュニティの一員という意識の強さのためだという主張があった。

「今年の漢字」を書いた清水寺の森清範主は「安」という漢字が選ばれた背景には、安全な社会をつくっていくという思いがある」と語っていた。時間ばかりかかるといえないが、世界のどの国も所に行っても、安心して人々が生活できるような「思い」を持ち続けたい。

## 27年度 県高校総体総合

### 最優秀校の栄誉に輝く

平成27年度県高校総体総合優勝校が1月19日に発表され、本校は男子の部で最優秀校、女子の部で優秀校に選ばれ、総合の部で最優秀校の栄誉に輝いた。本校が総合の部で最優秀校となるのは、平成8年度以来19年ぶりとなる。

表彰式は1月27日、いしかわ総合スポーツセンターで行われ、日頃より練習を積んできた生徒たちの努力が称えられた。

## 第87回金高祭開催

ダンス、模擬店、お笑い... 激動の2日間!



躍動感あふれるダンスを披露する生徒たち

見つけよう  
みんなの「輝き」

9月3日、4日の2日間、本校で第87回金高祭が開催された。「LET'S SOON」をテーマに、すべてのクラスがダンス発表や模擬店、展示などに参加し、生徒全員がそれぞれの場所で輝く笑顔を見せた。

両日も午前中は2年生がダンスを披露し、寸劇や動画を交えたり、衣装に工夫を凝らしたりするなど、クラスの個性が際立つ発表が印象的だった。吹奏楽部、管楽同好会、少林寺拳法同好会の発表も好評だった。

2日目の有志による金高ショータイムでは、歌や楽器演奏、ヨーヨー、ダンス、リフティングの他にも、近年珍

人気の模擬店に  
行列

しいコンパが披露され、観衆を爆笑の渦に巻きこんでいた。

午後は3年生の模擬店や1年生のクラス発表、文化部の展示などが行われた。模擬店ではおもち、デザート、春巻きなどの新顔メニューもあり、昼食時には長い行列ができる店もあった。

## 青い制する

## 全力で競い合った 体育祭

体育祭は9月30日、本校のグラウンドで行われた。本年のスローガンである「HAPPY SPORTS FESTIVAL」今日の主役はみんなの笑顔」とおり、生徒たちは歓声を響かせながら、チームの勝利のため力の限り競い合った。

午前中は玉入れや障害物競走のほか、チーム内の息を合わせることが必要なバレー、ジャンプ、3人4脚など、各団で息詰まる熱戦が繰り広げられた。

午後からは恒例の3年生女子による小綱奪い「シユラバ」が行われ、引きずられながらも小綱を放すまいとする女子たちの必死な様子が、観



息詰まる熱戦を繰り広げた騎馬戦



新人大会特集

Soul魂

ソフトボール

4連覇を達成!



優勝旗を手に微笑む選手たち

で行われ、本校ソフトボール部は決勝で金沢西に1-0の完封勝ちを収め、4年連続5度目の優勝を果たした。

また、北信越新人ソフトボール競技は11月7日から8日にかけて新潟市のみどり森の運動公園で行われ、本校は2回戦まで勝ち進んだ後、雨天のため4校同時優勝となった。主将の佐野未歩さん(2年10組)は「新人戦、北信越大会を優勝という形で終えることができたが、自分たちの最終目標は日本一です。まず3月に行われる全国選抜大会で結果を残すために、チーム全体でレベルアップした状態で臨みたいと思います」と決意を述べた。

県高校新人ソフトボール競技は10月24日から25日にかけて、門前総合運動公園

剣道 女子団体 2年連続5度目 優勝 横井個人V2 男子団体 第三位



迫力ある攻めを見せる横井さん(右)

県高校新人剣道競技は11月12日から14日にかけて、美川スポーツセンターで行われた。本校剣道部は団体女子が羽咋を破り2年連続5度目の優勝を果たしたほか、女子個人でも横井唯伽さん(2年7組)が2度目の優勝を飾った。男子も団体が3位、個人で

【県新人大会結果】

|      |            |            |
|------|------------|------------|
| 女子個人 | 優勝         | 横井唯伽       |
| 男子個人 | 準優勝        | 長森翔        |
| 女子団体 | 優勝         | 金沢 4-0 磐石川 |
| 男子団体 | 準優勝        | 金沢 2-0 星稜  |
| 準決勝  | 金沢 1-0 羽咋  |            |
| 決勝   | 金沢 2-1 羽咋  |            |
| 準決勝  | 金沢 1-0 金市工 |            |
| 準決勝  | 金沢 4-1 県工  |            |
| 準決勝  | 金沢 0-2 桜丘  |            |
| 準決勝  | 金沢 3-0 3位  |            |

【北信越新人大会結果】

|     |            |
|-----|------------|
| 1回戦 | 金沢 8-1 豊倉山 |
| 2回戦 | 金沢 3-0 長野商 |
| 準決勝 | 金沢 1-0 金沢西 |
| 決勝  | 金沢 1-0 金沢西 |

柔道 北村 野 66kg級 優勝



個人66kg級で優勝した北村君

県高校新人柔道競技は11月12日から14日にかけて、県立武道館で行われた。本校柔道部は男子個人66kg級で北村侑最君(2年1組)が優勝した。女子は48kg級で本田真有さん(1年10組)が2位、52kg級で北川結姫さん(2年7組)が2位と健闘した。北村君は「新人大会ではなんとか優勝することができた」と力強く語った。

自転車 風を切つて いざ、全国へ



風を切って駆け抜ける三輪君

県高校新人自転車競技は11月12日から13日にかけて、県立自転車競技場で行われた。本校自転車部は男子個人66kg級で北村侑最君(2年1組)が優勝した。女子は48kg級で本田真有さん(1年10組)が2位、52kg級で北川結姫さん(2年7組)が2位と健闘した。北村君は「新人大会ではなんとか優勝することができた」と力強く語った。

県高校新人サッカー競技は11月12日から15日にかけて、和倉温泉多目的グラウンド等で行われた。本校サッカー部は惜しくも決勝戦で遊学館に敗れ、栄冠をつかむことができなかった。部長の平田健君(2年11組)は「自分達はこの準優勝という結果に全く満足していません。全国で戦うため、勝つために日々努力し、次の総体、選手権を必ず取りにいきます」と雪辱を誓った。



スピードに乗って敵を突破する選手たち(白ユニフォーム)

サッカー 惜しくも 準優勝

県高校新人大会結果

|     |            |
|-----|------------|
| 1回戦 | 金沢 3-0 小松谷 |
| 準決勝 | 金沢 1-0 泉丘  |
| 準決勝 | 金沢 2-2 錦丘  |
| 決勝  | 金沢 1-2 遊学館 |

【県新人大会結果】

|     |            |
|-----|------------|
| 1回戦 | 金沢 4-1 大聖実 |
| 2回戦 | 金沢 3-0 星稜  |

県高校新人大会結果

|     |              |
|-----|--------------|
| 1回戦 | 金沢 106-8 加賀  |
| 2回戦 | 金沢 124-33 二水 |
| 準決勝 | 金沢 100-38 七尾 |

県高校新人バスケットボール競技は11月12日から15日にかけて、松任総合運動公園等で行われた。男子は準決勝で北陸学院に敗れたものの、シード順位決定戦では星稜を破り、3位という結果になった。部長の小林将也君(2年10組)は「金沢のバスケットを最後まで貫くことができた。ここからが本当の始まりです。もっと心と身体を鍛え、どんな状況でも揺るがない自分自身を作っていきます」と次なる戦いを見据えて語った。



加賀高戦でゴールを狙う選手たち

男子 バスケット ここからが始まり

県高校新人大会結果

|     |            |
|-----|------------|
| 1回戦 | 金沢 0-3 金沢東 |
| 2回戦 | 金沢 0-5 水   |
| 準決勝 | 金沢 0-5 水   |

県高校新人大会結果

|     |              |
|-----|--------------|
| 1回戦 | 金沢 93-38 県工  |
| 2回戦 | 金沢 81-49 金沢商 |
| 準決勝 | 金沢 39-84 津幡  |

県高校新人大会結果

|     |              |
|-----|--------------|
| 1回戦 | 金沢 44-78 北陸院 |
| 2回戦 | 金沢 82-67 星稜  |
| 準決勝 | 金沢 82-67 星稜  |

県高校新人大会結果

|     |            |
|-----|------------|
| 1回戦 | 金沢 5-0 泉丘  |
| 2回戦 | 金沢 2-1 松任  |
| 準決勝 | 金沢 2-0 泉丘  |
| 準決勝 | 金沢 0-2 金沢商 |



金沢商業戦で、心を合わせてプレーする選手たち

女子 バレーボール チーム一丸で ベスト8



# 息詰まる熱戦 高校野球で全校応援



スタンドを青く染めた本校応援団

全国高校野球選手権石川大会は7月11日から27日にかけ、県立野球場等で行われた。本校野球部は決勝で遊学館と対戦し、惜しくも0-1で敗れ、準優勝となった。準決勝、決勝のスタンドでは全校生徒と教職員による応援が行われ、

【高校野球選手権石川大会結果】  
2回戦 金沢7-0 翠星  
3回戦 金沢24-0 加賀  
準決勝 金沢6-0 金沢東  
準決勝 金沢6-3 小松谷  
決勝 金沢0-1 遊学館 準優勝

県高校新人陸上競技が、9月17日から19日にかけて、県陸上競技場で行われた。本校陸上部は森山天皓君(2年8組)が男子100m、200mを制したのを始め、400mでの場端翔大君(1年11組)、走高跳で竹内知春君(1年10組)、棒高跳で林良樹君(1年11組)がそれぞれ優勝の栄冠を手にした。

さらに男子は砲丸投で吉田玲於君(2年11組)、やり投で坂田泰晃君(2年7組)が優勝した。4×100mリレーも制した結果、男子総合で初の優勝に輝いた。

女子も奮闘し、5000m競歩で片山千里さん(2年10組)が2連覇を果たした。部長の渡辺瑛地君(2年7組)は「男子総合で初優勝、女子も総合入賞することができた。全体として来季につながる試合ができたと思います」と大躍進した結果を振り返った。



力走する森山君(手前)、山崎君(左から2番目)

## 男子総合 森山100m・200mで栄冠

| 【県新人大大会結果】    |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 男子            |                                  |
| 100m          | 森山天皓 優勝                          |
| 200m          | 森山天皓 優勝                          |
| 400m          | 山崎孔揮(1年9組) 4位                    |
| 800m          | 森山天皓 優勝                          |
| 1500m         | 山崎孔揮 3位                          |
| 4000m         | 的場翔大 優勝                          |
| 8000m         | 横山幸希(1年11組) 5位                   |
| 15000m        | 横山幸希 8位                          |
| 4000m障害       | 渡辺瑛地 4位                          |
| 4×100mリレー     | 柿田駿平(1年11組)・山崎・奥田周一(2年12組)・森山 優勝 |
| 4×400mリレー     | 伊藤光希(1年10組)・的場・渡辺・越野哲夫(2年4組) 5位  |
| 走高跳           | 竹内知春 優勝                          |
| 棒高跳           | 笠間大知(2年2組) 6位                    |
| 林良樹 優勝        |                                  |
| 山下悠騎(1年6組) 4位 |                                  |
| 砲丸投           |                                  |

北信越高校新人陸上競技は10月24日から25日にかけて県陸上競技場で行われ、男子100mで森山君が県大会に続き優勝した。

【北信越新人大大会結果】  
男子  
100m 優勝  
200m 優勝  
森山天皓 2位  
山崎孔揮 6位  
竹内知春 5位

北信越高校新人陸上競技は10月24日から25日にかけて県陸上競技場で行われ、男子100mで森山君が県大会に続き優勝した。

【県新人大大会結果】  
女子  
100m障害 優勝  
5000m競歩 優勝  
片山千里 優勝  
栗木未佑(1年8組) 7位  
砲丸投 優勝  
横山幸希 2位  
田盤投 5位  
横山幸希 5位  
総合 5位

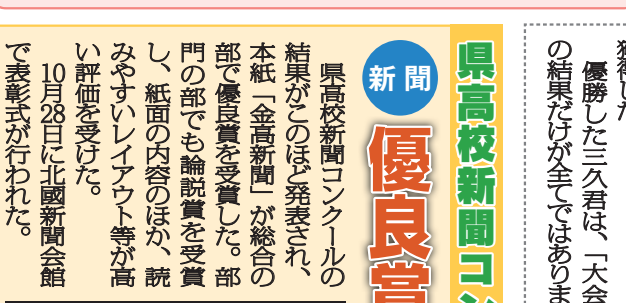
吉田玲於 優勝  
田盤投 7位  
吉田玲於 3位  
やり投げ 優勝  
坂田泰晃 優勝

## 練習の成果を披露 合同発表会を開催

吹奏楽部、バトン、トワニング同好会、箏曲同好会による合同発表会「サマーコンサート」は7月18日、県文教会館で開催された。日頃の練習の成果を多くの人々に披露するため、実施された。

コンサートはバトン、コンサートを皮切りに、吹奏楽部の演奏、箏曲のステージ発表が行われた。部員によるコントなど、観客を楽しませる仕掛けが随所に見え、

息の合った演奏を披露する吹奏楽部部員



県高校新聞コンクールの結果がこのほど発表され、本紙一高新聞が総合の部で優良賞を受賞した。部門の部でも論説賞を受賞し、紙面の内容のほか、読みやすいレイアウト等が高い評価を受けた。

10月28日に北國新聞会館で表彰式が行われた。

県高校新聞コンクール  
優良賞・論説賞

結果がこのほど発表され、本紙一高新聞が総合の部で優良賞を受賞した。部門の部でも論説賞を受賞し、紙面の内容のほか、読みやすいレイアウト等が高い評価を受けた。

10月28日に北國新聞会館で表彰式が行われた。

県高校新人少少林寺拳法競技が11月13日から14日にかけて、松任総合体育館で行われた。

本校少林寺拳法同好会は、男子は団体演武で優勝、単独演武では三久貴二君(2年10組)が優勝、西野敬君(1年4組)が2位となり、全国高校選抜大会への出場権を得た。

女子は単独演武で鶴来奈央子さん(2年4組)が2位となり、同じく全国への切符を獲得した。

優勝した三久君は、「大会の結果だけが全てではありません。今後の練習に励みます」と語った。

【県新人大大会結果】  
男子  
団体演武 優勝  
組演武 優勝  
山田伊織(2年3組)・山崎泰佑(2年9組) 4位  
単独演武 優勝  
三久貴二 2位  
西野敬 4位  
北村凌一(1年1組) 5位  
桜井勇人(2年2組) 5位

県高校新人水泳競技大会が9月6日、金沢市営総合プールで行われた。個人男子100m背泳ぎで、元谷優快君(2年12組)が優勝した。部長の元谷君は「雨でコンディションの悪い状況でしたが1・2年生共に自分のレースができていたと思います。総合優勝は逃しましたが、1年生には次年度もっと頑張ってもらい、2年生もラストシーブに向けてより一層力を入れて頑張っていきたいです」と語ってくれた。

【県新人大大会結果】  
男子競泳 4位  
女子競泳 準優勝  
女子飛込 準優勝

砲丸投 優勝  
吉田玲於 7位  
4×100mリレー 優勝  
柿田・山崎・奥田・森山 4位  
砲丸投 5位  
横山幸希 4位

各部の記録

男子バドミントン部  
団体 2回戦 金沢3-0 津幡  
3回戦 金沢0-3 石葺  
女子バドミントン部  
団体 2回戦 金沢0-3 星稜  
3回戦 金沢0-3 小松

【県新人大大会結果】  
男子バレーボール部  
決勝トーナメント  
1回戦 金沢2-0 大聖実  
2回戦 金沢0-2 小松峰

【県新人大大会結果】  
男子個人  
400m自由形 優勝  
佐藤翔(2年3組) 7位  
50m背泳ぎ 優勝  
元谷優快 2位  
小暮 諒(1年2組) 8位  
100m背泳ぎ 優勝  
元谷優快 7位  
白川和朋(1年7組) 7位  
50m平泳ぎ 優勝  
出町翔太(1年4組) 2位  
100m平泳ぎ 2位  
出町翔太 2位  
50mバタフライ 優勝  
近澤海斗(1年1組) 5位  
100mバタフライ 3位  
吉野裕平(1年10組) 3位  
近澤海斗 5位  
200m個人メドレー 3位  
吉野裕平 3位

男子個人  
400m自由形 優勝  
佐藤翔(2年3組) 7位  
50m背泳ぎ 優勝  
元谷優快 2位  
小暮 諒(1年2組) 8位  
100m背泳ぎ 優勝  
元谷優快 7位  
白川和朋(1年7組) 7位  
50m平泳ぎ 優勝  
出町翔太(1年4組) 2位  
100m平泳ぎ 2位  
出町翔太 2位  
50mバタフライ 優勝  
近澤海斗(1年1組) 5位  
100mバタフライ 3位  
吉野裕平(1年10組) 3位  
近澤海斗 5位  
200m個人メドレー 3位  
吉野裕平 3位

美術部  
県高文連金沢地区美術展  
倉田雅也(2年9組) 優良賞

【県新人大大会結果】  
個人決勝戦  
木村太亮 3位

【県新人大大会結果】  
男子個人  
50m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加(1年7組) 3位  
辰巳未来春(1年7組) 4位  
100m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加 3位

男子個人  
50m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加(1年7組) 3位  
辰巳未来春(1年7組) 4位  
100m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加 3位

各部の記録

男子バレーボール部  
決勝トーナメント  
1回戦 金沢2-0 大聖実  
2回戦 金沢0-2 小松峰

【県新人大大会結果】  
個人決勝戦  
木村太亮 3位

【県新人大大会結果】  
男子個人  
50m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加(1年7組) 3位  
辰巳未来春(1年7組) 4位  
100m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加 3位

男子個人  
50m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加(1年7組) 3位  
辰巳未来春(1年7組) 4位  
100m平泳ぎ 優勝  
小林奈那加 3位



特集

# 4月から新デザインへ！ 今考える「高校生と制服」

本校新聞部では本校の制服の歴史を調べてみた。男子はかつて、いわゆる「学ラン」といふ黒の詰襟学生服だった時代が長かったが、平成8年に時代の変化を受けて、ブレザーが導入され、現在に至っている。導入前には学園祭で新制服のファッションショーを行い、生徒の人気投票なども行われたらしい。



かつての旧制四高の制服をイメージした展示について  
吉田さん(左から2番目)から説明を受ける

生徒に聞いてみると、「今の制服が好き」(2年女子)という声がよく聞かれ、現在の制服に愛着を感じている人は多い。では、新デザインの制服はどの辺が新たな魅力なのだろう。

冬服のブレザーは深みのあるネイビーで、男子はチェックのストラップス、女子のスカートはスクールカラーのえんじ色が入ったチェックのスカ

平成8年以前は「学ラン」だった

今年の4月から、本校の制服のデザインが新しくなる。平成8年以来実に20年ぶりの改定で、時代の流れに合わせて、よりスタイリッシュで素敵なものになるようだ。記念すべきリニューアルを機に、私たち高校生が毎日袖を通す制服について、これまでの歴史を含めて改めて考えていきたい。



新しくなる制服を見つめる新聞部員

カート。ネクタイは男女共通で、全体的に洗練された上品な印象だ。

夏はポロシャツのほか、セーターも男女別のカラーに一新。新しいデザインを見てみると、この制服を身に着けた新入生が春に入学してからの楽しみになった。

制服の歴史が「四高記念館」にあった

本校の制服について調べたことをきっかけに、地元における制服の歴史を調査することにした。

明治のエリートと「パンカラ」

訪れたのは、金沢市広坂にある「石川四高記念文化交流館」。1893年(明治26年)から約80年間、旧制高等学校(中学校)として使用された、赤レンガが歴史と伝統を感じさせる施設である。同館総務課の吉田裕之課長に旧制四高の制服について問い合わせたところ、同高の制服が制定されたのは、明治29年(1896年)で、それ以前の学生は着物を登校していたという。当時の制服を記した「生徒便覧」も見せていただいたが、詰襟にコート、制帽、マントなどもあり、随分とまじりこみとしていた印象だ。



四高記念文化交流館の前にある明治(中)、大正(左)、昭和(右)の学生を表した像

吉田さんが示してくれた資料には、「粗末な衣装によつて表面的な姿に感ぜられず

旧制四高と言えば、その当時の超エリート校で、その頃の男子の1/3以下が通つたのであるという。選ばれた人々のための学校だ。ということは、四高の制服を着ているだけで、憧れの的となったはずだが、あえて「パンカラ」風に着崩していたのはどういうわけだろう。

同館を訪ねたことで、戦前の学生たちが自分たちの制服に誇りを持ちながら、精いっぱいこのこだわりを持っていたことが感じられた。四高の頃と違い、現代はほとんどの人が高校に進学し、制服を身に着ける時代だ。それでも、制服を身に着けることが、自分自身

制服で学校モードに切り替え

(旧制四高)旧制第四高等学校(金沢大学の前身)校(金沢市)は、1897年(明治20年)に金沢に設立され、「学都金沢」を象徴する存在だった。学制改革により、昭和25年に閉校。当時の校舎は石川四高記念文化交流館として公開され、イベントや展示で多くの人に利用されている。

真摯を追及するため、分析されているものもある。しかし本音のことは、エリートと見なされることに反発し、自分らしさを表現したかったのではないだろうか。

故郷に比べ、金沢は「都会」

ニコルさんはアメリカ中西部のアイオワ州出身である。市は人口約5,000人の落ち着いた町で、これまで大きな都市に住んだことがない



「将来の夢はエンジニア」と語るニコルさん

「5年前に友人がアジアの音楽を紹介してくれた時、中でも私は日本の音楽が一番好きになりました。そこで日本の文化や言葉が私たちのものとして通うことに興味を持ち、その時から日本に行つて学びたいと思うようになりました」とニコルさんは話してくれた。それは「パフューム」の曲だったのだが、日本の文化はアニメや漫画だけでなく、音楽でも海外の若者

に影響を与えているようだ。活を送るニコルさん。来月には待望の九州への修学旅行を控え、さうらに期待が膨らんでいる。約1年間の留学期間が充実したものになるよう、ニコルさんを見かけたら、生徒の皆さんはぜひ気軽に声をかけてみてほしい。



アメリカの高校では中国語やスペイン語を学び、サッカーや水泳などスポーツも積極的に取り組んでいた。日本語は独学で勉強してきたそうだが、日本で学ばないと考えたきっかけは何だったのだろうか。

「音楽」

取材のため石川四高記念文化交流館に行き、昔の制服などを詳しく知ることができました。これから読みやすい新聞を作りたいと思います。



部長 藤本 彩実(2年5組)  
副部長 宮下 花林(2年8組)  
松下 葉月(1年5組)

## 編集後記

今回の金高新聞は、私自身が生徒会執行部に入ったこともあり、前よりも忙しなか中、作業を進めなくてはなりません。初めて「主張」を書くにあたり、他の記事にはあまり手を付けられませんでした。が、部員みんなが協力してくれたおかげで、やっと完成させることができました。この場をお借りして、新聞づくりに協力してくれた多くの方々、またこの新聞を読んでいたという読者の皆様へ深く感謝申し上げます。

今回、自分にとっては2回目の新聞作りになりましたが、前回よりも取材することが多く、外に出て情報収集をすることが楽しくもあり、そして大変でもありました。これからいろいろなことを感じながら、新聞作りを続けたいと思います。南 光志朗(1年5組)



オーストラリアからはタシヤさん

オーストラリア出身の留学生タシヤ・クリークさんも、昨年12月から約1か月半、本校の2年生として共に学んだ。タシヤさんは野球が大好きなスポーツウーマンで、短い間ではあったが生徒たちと交友を深めていった。



アンケニ市にあるニコルさんの出身高校